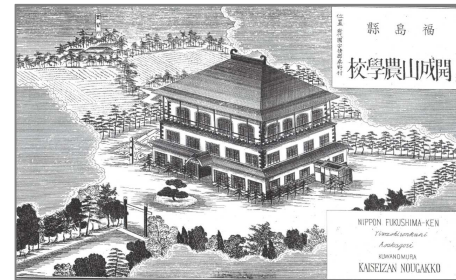


開成館の変遷

- 1874 明治6 同年に発足した開成社が、五十鈴湖の西南に開墾の事務所として落成（平屋建・旧開成館）
- 1874 明治7 現開成館が福島県第十区区会所として建設（三階建）。「開拓掛」の事務所も置かれた旧館の名を移して開成館と命名
- 1876 明治9 明治天皇東北巡幸の行在所となり、玉座、床の間等を設ける
- 1879 明治12 区制廃止に伴い、安積郡役所を設置
- 1881 明治14 明治天皇東北巡幸の行在所となる（2回目）
- 1883～ 明治16～ 開成館に県立開成山農学校開校
その後、桑野村役場、師範学校校舎、宿舍などに転用
- 1933 昭和8 **明治天皇ゆかりの史跡として国の史跡に指定**
- 1948 昭和23 引揚者等の市営住宅に転用し改造 ⇒ **国史跡指定が解除**
- 1960 昭和35 **県指定重要文化財に指定**
- 1966 昭和41 大規模改修により復元
- 1968 昭和43 歴史民俗資料館として一般公開開始
- 1992 平成4 **安積開拓発祥の地として立岩邸等とあわせて郡山市史跡に指定**
安積開拓資料館へ変更
- 1997 平成9 内部改修工事・安積開拓資料館リニューアルオープン
- 2009 平成21 **近代化産業遺産に認定**
- 2011 平成23 東日本大震災で被災
- 2012 平成25 災害復旧工事实施 資料館として再開
- 2016 平成28 **日本遺産に認定された 猪苗代湖・安積疏水・安積開拓を結ぶストーリーの構成文化財となる**
- 2021 令和3 令和3年2月福島県沖地震で被災
- 2022 令和4 復旧に向け基本調査を実施
- 2022 令和4 令和4年3月福島県沖地震で被災



(建設当初)



(農学校時代に作成されたエッチング)



(戦後市営住宅時代)



(東日本大震災時の被害)



(昭和41年復元時の開成館)



(東日本大震災復旧後の姿)